

海星だより

第5号 平成17年9月

広島県立大崎海星高等学校

<http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>

特集 ● 広島と船

海と船と人の物語

木村克彦・文

中川道夫・写真

大崎上島

歴史の荒波を乗り

越え船を造り続ける

船づくりは「人」のかかる仕事

大崎海星高校で教鞭をとる中村秀樹先生は、昭和四十年（一九六五年）、徒弟学校の後身となる高校の造船科を卒業した。

「そのころの造船科の卒業生の就職率は一〇〇パーセントですね。先方が学校へ足を運んできて、そこで面接、即決ということもありました」

ご自身も大手造船会社に就職。五年間で学資をためて、大学の機械科へ進学した。大学卒業後しばらくして、親の面倒をみるべく島へ戻り造船所につとめるも、ちょうど下り坂の時代で、人員整理の嵐が吹き荒れていたそうだ。そこへ、「欠員が出たので、教

員にならんか」という話がまいこんだ。造船科は、まだあった。その後「どんとんと生徒が減り続けて……」。

そして平成十年、大崎高校と木江工業高校は一つに統合されて大崎海星高校に。造船科、機械科は募集停止となり、総合学科が設けられた。

中村先生の担当教科は「工業」。二、三年生のカリキュラムに、船舶工学、小型船舶建造、造船工学（工作）、船舶整備などがみられる。いまでも、船づくりの精神は、脈々と伝えられているようだ。

工業の授業は木江校舎で行われるが、ここはもともと造船科、つまり中村先生が学んでいたところ。海際にあり、目の前には造船所の走行クレーンがそびえている。

「実際に船を造っているところを眺めながら授業をやるというのは、ひじょうによいことなんですよ。恵まれているかな、という気持ちはしますね。船造りには「人」がかかるんです」

かつては造船の次代を担う若者たちが果立っていた学舎で、「造船は労働力の集約産業だ」と、中村先生は言う。

「人件費の占める割合が大きい。付加価値の高い船でないと、これからはなかなか……」そこで、言葉がとぎれた。

大崎上島。海は、しんと静まりかえっている。目を閉じて、耳を澄ますと、木を打つ槌音が、そして鋼を合わせる溶接の、はじける火音が、胸の奥底に響きわたるのだ。

明日は、大崎下島を訪ねてみようと思う。



右／造船所は島の風景の一部として、完全に溶け込んでいるように思えた。左上／竹原からのフェリーが夕暮れの港に着く。左下／大崎海星高校の中村秀樹先生。物静かな方だ。

大会参加報告

紙面の都合上、入賞者のみの掲載とさせていただきます。

陸上部

第54回陸上競技尾三地区学校対抗選手権大会〔於 びんご運動公園陸上競技場〕
 8月6日(土)男子総合4位 フィールド3位
 7日(日)



走高跳	優勝	久保 (3年)
三段跳	優勝	久保 (3年)
100走	3位	稲尾 (3年)
100走	4位	土本 (2年)
200走	3位	稲尾 (3年)
砲丸投	4位	先田 (2年)
4×100R	2位	土本・白井・久保・稲尾
槍投げ	2位	藤原 (1年)
槍投げ	6位	真鍋 (3年)
1500走	8位	真鍋 (3年)
1500走	7位	瀬尾 (1年)
3000走	6位	保手濱 (1年)
4×100R	7位	藤原・保手濱・瀬尾・真鍋

野球部

第87回 全国高等学校野球選手権大会 広島県予選会〔於 三原市民球場〕
 7月15日(金) 1回戦 対 五日市高校 3 - 14



サッカー部

尾三地区高等学校サッカーカップ大会 リ-グ戦
 8月6日(土)第一節 対 因島高校 0 - 2〔於 三原高校〕
 8月11日(木)第二節 対 瀬戸田高校 2 - 0〔於 忠海高校〕
 9月3日(土)第三節 対 世羅高校〔於 三原東高校〕
 全国高校サッカー-選手権大会 広島県大会〔於 福山工業高校〕
 8月20日(土) 対 福山明王台高校 0 - 1



卓球部

尾三地区高等学校1年生大会〔於 長者原スポ-ツセンタ-〕
 8月3日(水) シングルス 出場47人中、ベスト16 繁光, 金原, 尾尻, 畝本
 第33回全国高等学校選抜大会 尾三地区予選〔於 長者原スポ-ツセンタ-〕
 8月19日(金) 女子団体 3位
 2年 - 辰田, 奥本, 喜連川, 国広, 近下
 1年 - 尾尻, 繁光, 文田



弓道部

第9回東部高等学校弓道錬成大会 1年の部〔於 福山市営弓道場〕
 2年の部〔於 三原リージョンプラザ〕
 8月21日(日) 2年の部 女子個人3位(8射中6射) 松本由希

生徒の入賞作品

全国高校サッカー-選手権大会 広島県大会 プログラム表紙デザイン
 佳作 2年 渡辺美樹 11月13日(日)決勝戦で表彰



—中野小学校児童に書写指導—

8月11日(火)まで本校に於いて、1年生から6年生までの85名を対象に書写指導を行いました。児童たちも高校での授業に少し緊張気味ではありましたが、熱心に取り組んでいました。

